

『はじまりのおと』 寸評

- ・明確な和声感が音にあらわれている
- ・転回形の運用も正しく実施されている (ex. m.2-3の下声部)
- ・旋律の展開・借用和音のおきどころにも手慣れた冴えがみられる
- ・ハーモニーの厚みも意識しており、聴いていて充実感がある
- ・作品への期待を高めるタイトルも上手い

完成度をさらに上げるために

- ・ m.1 b.2 課題旋律を二度下に写しまちがえたかな
- ・ m.5-6 次のようにすると、より和声感がはっきりする



- ・ m.12 b.4 下声部の四分休符は上声部の音符より下に置こう
- ・ 独奏ではあるが、たとえばm.15から *rit.* してm.16の2つ目の音符に \odot など、演奏を客観化する指示をつけてみると、他楽器やアンサンブルの譜面を書く際に役に立つ
- ・ タイトルをたすけるような発想標語があるとなおよい
ex. 憧れをもって
- ・ m.13 b.1-2 動機の反復が少しくどく感じるので
ここではかたちを変えてみたらどうだろう



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへん見事な月完前です。

持魔勉